実務経験のある教員等による授業科目一覧【**スポーツ鍼灸学科**】

授業科目	単位数	実務経験のある科目担当教員の氏名		
東洋医学概論１	2	村上晋介		
東洋医学概論２	2	村上晋介		
経絡経穴概論１	2	小寺凌		
経絡経穴概論２	2	小寺凌		
経絡経穴概論３	2	小寺凌		
東洋医学診断論１	2	小寺凌		
東洋医学診断論２	2	小寺凌		
東洋医学臨床論１	2	小寺凌		
東洋医学臨床論２	2	馬男木亨		
東洋医学臨床論３	2	馬男木亨		
鍼灸理論１	2	小寺凌		
鍼灸理論２	2	黒川典子		
社会鍼灸学	2	河口弘幸		
基礎実技１	1	中村裕司		
基礎実技２	1	河口弘幸		
基礎実技３	1	中村裕司		
基礎実技４	1	河口弘幸		
応用実技１	1	河口弘幸		
応用実技２	1	宮原正人		
応用実技３	1	中村裕司		
応用実技４	1	中村裕司		
応用実技５	1	中村裕司		
応用実技６	1	大庭慎一郎		
臨床実技１	1	小寺凌		
臨床実技２	1	大中孝子		
臨床実技３	1	宮原正人		
臨床実技４	1	村上晋介		
臨床実技５	1	馬男木亨		
臨床実習１	1	大中孝子		
臨床実習２	1	大中孝子		
臨床実習３	1	大中孝子		
臨床実習４	1	馬男木亨		
総合演習１	2	宮原正人		
総合演習２	2	小寺凌		
総合演習３	2	大庭慎一朗		
総合演習４	2	黒川典子		
総合演習５	2	小寺凌		
総合演習６	2	馬男木亨		
合　　計	**57**			

九州医療スポーツ専門学校
令和3年度　スポーツ鍼灸学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
	○		

授業科目名	保健体育演習1	担当者名	村方　浩典

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数	2				授業時間数	40					

授業概要	自然療法の1つとして取り入れられているアロマセラピーをスポーツの分野に活かし、早期の疲労回復、スポーツ障害のケア、怪我の予防、ストレスによる不調の改善などを行うことをスポーツアロマと称しています。トップアスリートのコンディショニングとして取り入れられているスポーツアロマの理論・技術（下肢）の習得を目指します。
成績評価	原則として、定期試験および追・再試験の結果で評価する。
その他	実務経験なし

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書			
参考図書			

回数	授業計画
1	スポーツアロマとは　アロマセラピーとの違い
2	アロマセラピーの歴史と基礎学
3	精油学　精油1つ1つの特徴
4	基材論・手技の基本とブレンドについて
5	アロマの化学とリフレッシュスプレー作成
6	メンタルケアについて/ブレンド実習（リラックスオイル作成）/タオルワーク
7	関係法規・トリートメントの禁忌・トリートメントの基礎
8	下肢後面実技①
9	下肢後面実技②・応用
10	筆記試験
11	ヘッドトリートメント
12	ブレンド実習（痛み緩和オイル）下肢前面実技①
13	下肢後面実技②
14	グループワーク
15	下肢後面実技③・応用手技
16	カウンセリングとSOAP
17	主訴に合わせたブレンド
18	ハンドトリートメント実技
19	総合実技
20	実技試験

九州医療スポーツ専門学校
令和3年度　スポーツ鍼灸学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
	○		

授業科目名	保健体育演習2	担当者名	村方　浩典

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数	2				授業時間数		40				

授業概要	スポーツ現場で特に有用なテーピング、ストレッチの基本技術を、実習を通じて獲得することを目的とする。
成績評価	定期試験および再試験の結果を総合的に勘案して評価する。
その他	実務経験なし

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	必要に応じてプリント配付		
参考図書			

回数	授業計画
1	テーピングの説明
2	足関節捻挫に対するテーピング（基本のテーピング）
3	足関節捻挫に対するテーピング（クローズド・バスケットウィーブ）
4	足関節捻挫に対するテーピング（伸縮テープを併用した方法）
5	アーチのテーピング1（非伸縮テープによる方法）
6	アーチのテーピング2（ハンディカット伸縮テープによる方法）
7	母趾のテーピング（伸展制限）
8	踵部のテーピング
9	下腿部肉離れに対するテーピング
10	大腿部の肉離れ、打撲に対するテーピング
11	膝関節内側側副靭帯損傷に対するテーピング
12	膝関節前十字靭帯損傷に対するテーピング
13	下肢テーピングまとめ
14	肩鎖関節捻挫に対するテーピング・肩関節反復性前方脱臼に対するテーピング
15	肘関節内側側副靭帯損傷に対するテーピング
16	手関節捻挫に対するテーピング1（Xサポート、縦方向のサポート）
17	手関節捻挫に対するテーピング2（フィギュアエイト）
18	上肢テーピングまとめ
19	上肢・下肢テーピングまとめ
20	期末試験

九州医療スポーツ専門学校
令和3年度　スポーツ鍼灸学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
	○		

授業科目名	外国語	担当者名	工藤　和男

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数	2				授業時間数	40					

授業概要	「人体の器官」では人体の機能をつかさどる各器官の英語表現を、「英作文演習」では医療現場で使用される英語表現を学習する。本学習により医療従事者にとっての英語表現の基礎を習得させる。
成績評価	定期試験および再試験の結果を総合的に勘案して評価する。
その他	実務経験なし

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	授業計画に基づいて資料を作成し都度生徒へ配布		
参考図書	看護英語の基本用語と表現	著者　円城寺康子／川越栄子	メジカルビュー社

回数	授業計画
1	人体の器官1(内臓器官)、　英作文演習　医療現場での英語1(自己紹介)
2	人体の器官2(心臓)、　英作文演習　医療現場での英語2(病棟案内-1)
3	人体の器官3(消化器官)、　英作文演習　医療現場での英語3(病棟案内-2)
4	人体の器官4(膵臓の働き)、　英作文演習　医療現場での英語4(食事)
5	人体の器官5(脳／耳)、　英作文演習　医療現場での英語5(排泄)
6	人体の器官6(頭部と頚部)、　英作文演習　医療現場での英語6(入浴)
7	人体の器官7(目)、　英作文演習　医療現場での英語7(睡眠)
8	人体の器官8(皮膚の構造)、 英作文演習　医療現場での英語8(病歴聴取-健康上の習慣)
9	人体の器官9(腎臓)、　英作文演習　医療現場での英語9(病歴聴取-排泄)
10	人体の器官10(呼吸器系)、 英作文演習　医療現場での英語10(病歴聴取-手術、薬、病状)
11	人体の器官11(口と歯)、　英作文演習　医療現場での英語11(血圧検査／体温検査)
12	人体の器官12(脊髄／末梢神経)、英作文演習　医療現場での英語12(血液検査／尿、便検査)
13	人体の器官13(体循環／血管)、　英作文演習　医療現場での英語13(投薬)
14	人体の器官14(全身の骨格)、　英作文演習　医療現場での英語14(注射、包帯)
15	人体の器官15(全身の筋肉)、　英作文演習　医療現場での英語15(体位)
16	人体の器官16(大腸、直腸、排便)、　英作文演習　医療現場での英語16(入院)
17	人体の器官17(全身の神経)、　英作文演習　医療現場での英語17(手術)
18	人体の器官18(手根骨等)、　英作文演習　医療現場での英語18(症状を訴えるA)
19	人体の器官19(膝関節等)、　英作文演習　医療現場での英語19(症状を訴えるB)
20	期末試験

九州医療スポーツ専門学校
令和3年度　スポーツ鍼灸学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
	○		

授業科目名	スポーツ科学1	担当者名	菅　典雄

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数	2				授業時間数		40				

授業概要	経済学と経営学の概念や社会環境の中での機能について理解することを目的とする。
成績評価	定期試験および再試験の結果を総合的に勘案して評価する。
その他	実務経験なし

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書			
参考図書			

回数	授業計画
1	経営学(1)　みんな違って、みんないい
2	成功する鍼灸院の経営
3	治療院の経営（医療と財務の調和）
4	プロフェッショナルは共感の心がつくる
5	仕事人は個の参加する社会を創る
6	ドラッガーの経営学①会社の目的は顧客の創造
7	ドラッガーの経営学②マーケティングとイノベーションが事業のカギ
8	ドラッガーの経営学③イノベーションとはいい変化を起こすこと
9	ドラッガーのマネジメント
10	もし高校野球の女子マネージャーがドラッガーを読んだら
11	ドラッガー経営学：キーワード
12	施術メニューの考え方：イノベーション？
13	マーケティングの実際
14	コトラーの経営学①マーケティング
15	コトラーの経営学②市場の細分化
16	フラガールにおける経営学①
17	フラガールにおける経営学②
18	リーダーシップ、リーダーとは？
19	総復習
20	期末試験

九州医療スポーツ専門学校
令和3年度　スポーツ鍼灸学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
	○		

授業科目名	スポーツ科学2	担当者名	鍵村　昌範

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数	2				授業時間数			40			

授業概要	将来臨床現場において必要な人材となりうるためにコミュニケーション学の概念や理論を学び、言語や非言語によるコミュニケーションと対人関係との相互作用についての理解を深めることを目的とする。
成績評価	原則として、定期試験および追・再試験の結果で評価する。
その他	実務経験なし

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	現代コミュニケーション学	池田　理知子　著	(株)有斐社
参考図書			

回数	授業計画
1	キャリアと豊な仕事生活①
2	キャリアと豊な仕事生活②
3	キャリアと豊な仕事生活③
4	ビジネスマナーの基本①:ビジネスマナー
5	ビジネスマナーの基本②:職場でのコミュニケーション
6	ビジネスマナーの基本③:円滑なコミュニケーションのために、社会人としての身だしなみ
7	就学中のマナー①:出席から遅刻までのルール、仕事中の態度や行動
8	就学中のマナー②:態度や表情は内面から出る、感じの良い挨拶
9	就学中のマナー③:お客様との接し方　+　練習問題
10	指示の受け方と報告、連絡、相談①:指示を受け話を聞くポイント、報告の仕方
11	指示の受け方と報告、連絡、相談②:報告の仕方(続き)、マナーの模擬試験
12	指示の受け方と報告、連絡、相談③:相談と忠告の受け方
13	話し方の基本①:印象がよくなるビジネスにふさわしい話し方
14	話し方の基本②:印象が強くビジネスにふさわしい話し方
15	話し方の基本③:プレゼンテーションの基本、敬語の必要性と種類
16	話し方の基本④:自己紹介の作成
17	座り方、熨斗
18	料理マナー
19	名刺交換マナー
20	期末試験

九州医療スポーツ専門学校
令和3年度　スポーツ鍼灸学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
	○		

授業科目名	保健体育理論1	担当者名	得本　啓次

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数	2				授業時間数	40					

授業概要	医療人として必要な健康・身体・スポーツ等、身体と運動、健康、社会保障について学ぶ。
成績評価	期末（検定）試験結果、欠席・遅刻、授業態度、提出物等を加味して評価する。
その他	実務経験なし

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	生涯スポーツトレーナー教本	水嶋　昭彦　他	星雲社
参考図書			

回数	授業計画
1	第1章　生涯スポーツトレーナー概論【体の発育・発達、呼吸・循環機能、環境等】
2	第1章　生涯スポーツトレーナー概論【日本の現状、これからのスポーツトレーナーのあり方等】
3	第2章　保健指導【健康の定義、社会保障制度、健康づくり等】
4	第2章　保健指導【健康の定義、社会保障制度、健康づくり等】
5	第3章　解剖生理学総論【人体の区分、内臓・骨と関節の仕組みと働き等】
6	第3章　解剖生理学総論【人体の区分、内臓・骨と関節の仕組みと働き等】
7	第6章　高齢者の身体とトレーニング概論【身体的特徴、医学問題、脳の老化と防止等】
8	第6章　高齢者の身体とトレーニング概論【身体的特徴、医学問題、脳の老化と防止等】
9	実技1－①　高齢者の身体とトレーニング
10	実技1－②　高齢者の身体とトレーニング
11	実技1－③　高齢者の身体とトレーニング
12	実技1－④　高齢者の身体とトレーニング
13	第8章　生涯スポーツトレーナー「基礎法規」【医療行為と医療類似行為、禁止事項等】
14	第8章　生涯スポーツトレーナー「基礎法規」【医療行為と医療類似行為、禁止事項等】
15	第3章　解剖生理学【骨と関節の仕組みと働き】
16	第3章　解剖生理学【骨と関節の仕組みと働き】
17	第3章　解剖生理学【筋肉の仕組みと働き】
18	第3章　解剖生理学【筋肉の仕組みと働き】
19	前期まとめ
20	理論試験①【『生涯スポーツ指導員』認定試験】

九州医療スポーツ専門学校
令和3年度　スポーツ鍼灸学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
	○		

授業科目名	保健体育理論2	担当者名	得本　啓次

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数	2				授業時間数			40			

授業概要	健康スポーツは身体を動かすことを楽しみ、生活に役立つ健康な身体と心を維持増進することを目的とする。適切な指導を行えることが、これからの健康の維持増進に必要不可欠であるため、子どもから高齢者の特徴について学んでいく。講義の中で、実際に身体を動かす場面やテーピング実技を行う場合もある。
成績評価	小テスト、定期試験、授業態度を総合的に評価する。
その他	実務経験なし

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	健康スポーツセラピスト知識検定公式テキスト	水嶋　章陽　他　著	
参考図書	生涯スポーツトレーナー教本	水嶋　章陽　他　著	

回数	授業計画
1	ガイダンス・ZERO100プロジェクトについて・スポーツ栄養学①
2	スポーツ栄養学②
3	保健指導①
4	保健指導②
5	実技（ストレッチ・手遊び・筋トレ）
6	実技（コーディネーショントレーニング）
7	実技（ストレッチ・筋トレ）
8	実技（コーディネーショントレーニング）
9	スポーツ心理学①
10	スポーツ心理学②
11	スポーツマネジメント
12	スポーツマネジメント
13	人体解剖学
14	人体解剖学
15	地下講堂にて実技（背骨コンディショニングレッスン）
16	スポーツとは何か？
17	模擬試験
18	栄養学 『甘くない砂糖の話』
19	終講試験
20	実技（二人組での身体作り、レクリエーションゲーム）

九州医療スポーツ専門学校
令和3年度　スポーツ鍼灸学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
		○	

授業科目名	解剖学1	担当者名	大庭　慎一朗

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数	2				授業時間数	40					

授業概要	本科目の目的は骨の構造、形態および機能、筋の構造、形態および機能について、患者さん対して説明できるように内容を理解する。また、自身で専門書などで勉強する時のためにも専門知識を身につける。
成績評価	原則として、小テスト、定期試験および追・再試験の結果で評価する。
その他	実務経験なし

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	解剖学（第2版）	河野邦雄、伊藤隆造他著 （社）東洋療法学校協会編	医歯薬出版
参考図書			

回数	授業計画
1	解剖について、第1章：人体の区分と方向、 第10章：骨格系：骨総論：連結・関節の種類
2	骨学各論：脊柱の構成―脊柱の機能・椎骨の基本形態、 椎骨の連結・脊柱管・椎間孔・各部の椎骨：頚椎・胸椎
3	各部の椎骨：腰椎・仙骨・尾骨・仙腸関節・脊柱の靱帯、 胸郭：胸骨・肋骨・胸郭の全体像と運動
4	脊柱のまとめ
5	上肢の骨 ： 上肢帯の骨―鎖骨・肩甲骨
6	自由上肢骨 ： 上腕骨・橈骨・尺骨・手根骨・中手骨・指骨
7	上肢の骨のまとめ
8	下肢帯の骨―寛骨（骨盤）・下肢帯の靱帯,自由下肢骨 ： 大腿骨・脛骨・腓骨
9	足根骨・中足骨・指骨・下肢の靱帯
10	下肢の骨のまとめ
11	頭蓋骨Ⅰ： 頭蓋骨の成り立ち・内頭蓋底
12	頭蓋骨Ⅱ：後頭蓋窩・顔面頭蓋・頭蓋骨をつくる骨
13	頭蓋骨Ⅲ：顔面頭蓋をつくる骨・頭部の関節
14	頭蓋骨のまとめ
15	第10章：骨格系：骨学総論、骨の形状による分類
16	第1章：骨の生理学・骨の発生（軟骨内骨化・膜内骨化）
17	第1章：細胞の構造
18	第1章：細胞周期、遺伝子の働き、上皮組織分類
19	期末試験
20	定期試験の解答・解説

九州医療スポーツ専門学校
令和3年度　スポーツ鍼灸学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
		○	

授業科目名	解剖学2	担当者名	村上　晋介

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数	2				授業時間数	40					

授業概要	本科目の目的は筋の構造、形態および機能について、患者さん対して説明できるように内容を理解する。　また、自身で専門書などで勉強する時のためにも専門知識を身につける。
成績評価	原則として、中間試験、期末試験および追・再試験の結果で評価する。
その他	実務経験なし

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	解剖学（第2版）	河野邦雄、伊藤隆造他著 （社）東洋療法学校協会編	医歯薬出版
参考図書			

回数	授業計画
1	筋学総論　筋組織（平滑筋・骨格筋・心筋）　筋原線維（ミオシン・アクチンフィラメント）
2	頭頚部の筋①　表情筋・咀嚼筋　筋の作用と神経支配
3	頭頚部の筋②　頸部の筋肉（広頚筋・胸鎖乳突筋・舌骨上筋群・舌骨下筋群・斜角筋・椎前筋）　筋の作用と神経
4	頭頚部の筋③　頸部の三角（前頸三角・後頸三角）
5	体幹前面の筋①　胸部の筋（浅胸筋・深胸筋）　筋の作用と神経支配
6	体幹前面の筋②　胸部の筋（横隔膜）、腹部の筋（前腹筋）　筋の作用と神経支配
7	体幹前面の筋③　腹部の筋（側腹筋・後腹筋）・会陰部の筋　筋の作用と神経支配　鼠径靭帯と鼠径管
8	体幹後面の筋①　背部の筋（浅背筋・深背筋）　筋の作用と神経支配
9	体幹後面の筋②　背部の筋（後頭下筋群）
10	中間試験　上肢の筋①　上肢帯の筋　筋の作用と神経支配
11	上肢の筋②　上腕屈筋群・伸筋群　筋の作用と神経支配
12	上肢の筋③　前腕屈筋群　筋の作用と神経支配
13	上肢の筋④　前腕伸筋群　筋の作用と神経支配
14	上肢の筋⑤　手部の筋　筋の作用と神経支配　手根管・伸筋支帯（第1～6トンネル）・ギオン管
15	下肢の筋①　下肢帯の筋　筋の作用と神経支配
16	下肢の筋②　大腿屈筋群・伸筋群　筋の作用と神経支配　大腿三角
17	下肢の筋③　大腿内転筋群　筋の作用と神経支配
18	下肢の筋④　下腿屈筋群・伸筋群・腓骨筋群　筋の作用と神経支配
19	下肢の筋⑤　足部　屈筋支帯・伸筋支帯・腓骨筋支帯
20	期末試験

九州医療スポーツ専門学校
令和3年度　スポーツ鍼灸学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
		○	

授業科目名	解剖学3	担当者名	村上　晋介

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数	2				授業時間数		40				

授業概要	本科目の目的は循環器系（心臓、動静脈、リンパ系）の構造、形態、走行および機能、呼吸器系の構造、形態および機能について、患者さん対して説明できるように内容を理解する。また、自身で専門書などで勉強する時のためにも専門知識を身につける。
成績評価	原則として、中間試験、期末試験および追・再試験の結果で評価する。
その他	実務経験なし

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	解剖学（第2版）	河野邦雄、伊藤隆造他著 （社）東洋療法学校協会編	医歯薬出版
参考図書			

回数	授業計画
1	呼吸器系①　鼻腔・副鼻腔
2	呼吸器系②　咽喉頭・気管・気管支
3	呼吸器系③　肺の構造・肺内の空気の流れ
4	呼吸器系④　肺・縦隔
5	血管系総論
6	心臓①　心臓の外形　心臓壁（心内膜・心筋・心外膜）
7	心臓②　刺激伝導系・心臓の血管
8	動脈系①　上行大動脈・大動脈弓の分枝
9	動脈系②　総頸動脈・鎖骨下動脈の分枝
10	動脈系③　上肢の血管
11	中間試験　動脈系④　胸大動脈の分枝
12	動脈系⑤　腹大動脈の分枝
13	動脈系⑥　総腸骨動脈の分枝
14	動脈系⑦　下肢の血管
15	静脈系①　静脈の構造　上・下大静脈に注ぐ血管
16	静脈系②　奇静脈系・門脈系
17	静脈系③　胎児循環
18	リンパ系①　リンパ系総論・リンパ本幹（胸管・右リンパ本幹）
19	リンパ系②　脾臓・胸腺
20	期末試験

九州医療スポーツ専門学校
令和3年度　スポーツ鍼灸学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
		○	

授業科目名	解剖学4	担当者名	大庭　慎一朗

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数	2				授業時間数		40				

授業概要	本科目の目的は内臓系の構造、形態および機能について、患者さん対して説明できるように内容を理解する。　また、自身で専門書などで勉強する時のためにも専門知識を身につける。
成績評価	原則として、定期試験および小テスト、授業態度、追・再試験の結果で評価する。
その他	実務経験なし

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	解剖学（第2版）	河野邦雄、伊藤隆造他著 （社）東洋療法学校協会編	医歯薬出版
参考図書			

回数	授業計画
1	消化器1：総論
2	消化器2：口腔・舌・歯
3	消化器3：唾液腺・咽頭・食道
4	消化器4：胃
5	消化器5：小腸・大腸
6	消化器6：肝臓
7	消化器7：胆のう・膵臓・腹膜
8	泌尿器1：腎臓
9	泌尿器2：尿路
10	中間テスト　生殖器1：男性生殖器
11	生殖器2：女性生殖器
12	内分泌1：総論・下垂体前葉
13	内分泌2：下垂体中・後葉
14	内分泌3：松果体・甲状腺・副甲状腺
15	内分泌4：精巣・卵巣
16	感覚器1：総論・皮膚
17	感覚器2：味覚器・嗅覚器
18	感覚器3：平衡聴覚器、視覚器
19	期末試験
20	期末解説・解答

九州医療スポーツ専門学校
令和3年度　スポーツ鍼灸学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
		○	

授業科目名	解剖学5	担当者名	村上　晋介

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数	2				授業時間数			40			

授業概要	中枢神経と末梢神経の構造と走行について習得する。
成績評価	中間試験、期末試験に出席状況、授業態度等を考慮し、総合的に評価する。
その他	実務経験なし

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	解剖学（第2版）	河野邦雄、伊藤隆造他著 （社）東洋療法学校協会編	医歯薬出版
参考図書			

回数	授業計画
1	神経組織（神経細胞・神経膠細胞）　脊髄・脳（大脳・間脳・脳幹・小脳）①　脊髄の構造
2	脊髄・脳（大脳・間脳・脳幹・小脳）②　大脳の構造（大脳皮質・大脳髄質）
3	脊髄・脳（大脳・間脳・脳幹・小脳）③　大脳の構造（大脳皮質・大脳髄質）・間脳（視床・視床下部）
4	脊髄・脳（大脳・間脳・脳幹・小脳）④　脳幹（中脳・橋・延髄）・小脳
5	脊髄・脳（大脳・間脳・脳幹・小脳）⑤　まとめ
6	脳室系・脳血管・伝導路①　脳室系・脳血管
7	脳室系・脳血管・伝導路②　上行性伝導路
8	脳室系・脳血管・伝導路③　下行性伝導路
9	脳神経系①（嗅神経・視神経・動眼神経）
10	中間試験　脳神経系②（滑車神経・三叉神経・外転神経）
11	脳神経系③（顔面神経・内耳神経・舌咽神経）
12	脳神経系④（迷走神経・副神経・舌下神経）
13	脳神経系⑤　まとめ
14	脊髄神経系①　神経叢（頸神経叢・腕神経叢・腰神経叢・仙骨神経叢）　頸神経叢・腕神経叢
15	脊髄神経系②　神経叢（頸神経叢・腕神経叢・腰神経叢・仙骨神経叢）　腕神経叢
16	脊髄神経系③　神経叢（頸神経叢・腕神経叢・腰神経叢・仙骨神経叢）　腰神経叢・仙骨神経叢
17	脊髄神経系④　まとめ
18	自律神経系（交感神経・副交感神経）①　交感神経系
19	自律神経系（交感神経・副交感神経）②　副交感神経系
20	期末試験

九州医療スポーツ専門学校
令和3年度　スポーツ鍼灸学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
		○	

授業科目名	解剖学6	担当者名	小寺　凌

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数	2				授業時間数			40			

授業概要	1年次に行った解剖学と生理学の結びつけながら、復習する。
成績評価	原則として、定期試験および追・再試験の結果で評価する。
その他	実務経験なし

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	解剖学（第2版）	河野邦雄、伊藤隆造他著 （社）東洋療法学校協会編	医歯薬出版
参考図書			

回数	授業計画
1	細胞と骨筋　1
2	細胞と骨筋　2
3	内臓と感覚　1
4	内臓と感覚　2
5	脈管と呼吸　1
6	脈管と呼吸　2
7	まとめ　1
8	まとめ　2
9	中間試験
10	総括
11	細胞と骨筋　3
12	細胞と骨筋　4
13	内臓と感覚　3
14	内臓と感覚　4
15	脈管と呼吸　3
16	脈管と呼吸　4
17	神経　1
18	神経　2
19	期末試験
20	解答解説

区分B2:O26DB2	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
		○	

九州医療スポーツ専門学校
令和3年度　スポーツ鍼灸学科

授業科目名	生理学1	担当者名	河口　弘幸

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数	2				授業時間数	40					

授業概要	人体の個々の細胞・組織・器官がどのような性質を持ち、どのように働くのかを理解、 習得する事を目的とする。
成績評価	原則として、中間試験、定期試験および追・再試験の結果で評価する。
その他	実務経験なし

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	生理学（第3版）	内田さえ・原田玲子他　著 東洋療法学校協会編	医歯薬出版
参考図書			

回数	授業計画
1	生理学の基礎　：　生理学の特徴、細胞の構造と機能
2	：　物質代謝の仕組みと移動、体液の組成と働き
3	血液　：　血液の組成と働き、血液凝固の仕組み
4	循環　：　心臓血管系　、心臓
5	：　血管系の構造と機能
6	：　血圧、循環の調整
7	：　循環の調整
8	：　特殊な部位の循環、リンパ系
9	中間試験
10	消化と吸収　：　消化器系の構造と機能～口腔内の消化
11	：　胃内の消化
12	：　小腸内の消化と吸収
13	：　大腸内の消化と吸収
14	：　直腸・肛門と排便
15	：　消化管ホルモン
16	：　肝臓の働き
17	栄養と代謝　：　栄養素とエネルギー代謝、三大栄養素の働きと代謝
18	：　三大栄養素の働きと代謝～　ビタミン、無機質、水
19	期末試験
20	解説・まとめ

九州医療スポーツ専門学校
令和3年度　スポーツ鍼灸学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
		○	

授業科目名	生理学2	担当者名	河口　弘幸

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数	2				授業時間数		40				

授業概要	人体の個々の細胞・組織・器官がどのような性質を持ち、どのように働くのかを理解、 習得する事を目的とする。
成績評価	原則として、中間試験、定期試験および追・再試験の結果で評価する。
その他	実務経験なし

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	生理学（第3版）	内田さえ・原田玲子他　著 東洋療法学校協会編	医歯薬出版
参考図書			

回数	授業計画
1	呼吸　1：呼吸器系の構造と機能
2	呼吸　2：呼吸運動、肺機能
3	呼吸　3：ガス交換とガスの運搬、呼吸運動の調整
4	体温　1：体熱の産生と放散の仕組み
5	体温　2：体温調節の仕組み
6	排泄　1：腎臓の構造と機能
7	排泄　2：尿の組成、腎臓による体液の調整
8	排泄　3：腎臓による体液の調整の続き
9	排泄　4：蓄尿、排尿
10	中間試験
11	内分泌　1：ホルモンの一般特徴
12	内分泌　2：視床下部、下垂体のホルモン
13	内分泌　3：甲状腺、副甲状腺のホルモン
14	内分泌　4：膵臓、副腎のホルモン
15	内分泌　5：副腎髄質、副腎皮質のホルモン
16	内分泌　6：精巣・卵巣のホルモン、その他のホルモン、神経によるホルモン調節のまとめ
17	生殖・成長と老化　1：男性と女性の生殖器の構造と機能
18	生殖・成長と老化　2：成長・老化
19	まとめ
20	期末試験

九州医療スポーツ専門学校
令和3年度　スポーツ鍼灸学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
		○	

授業科目名	生理学3	担当者名	黒川　典子

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数	2				授業時間数			40			

授業概要	第10章　神経～第12章　運動にかけてを学習する。
成績評価	平常点（小テスト等）、定期試験および追・再試験の結果にて評価を行う。
その他	実務経験なし

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	生理学（第3版）	佐藤優子・佐藤昭夫他　著 東洋療法学校協会編	医歯薬出版
参考図書			

回数	授業計画
1	第10章　神経；ニューロンの構造と働き
2	ニューロンの構造と働き②
3	中枢神経系
4	中枢神経系②
5	中枢神経系③
6	末梢神経系
7	末梢神経系②
8	まとめと復習
9	中間試験
10	第11章　筋；構造と働き～筋収縮の仕組み
11	エネルギー代謝～心筋と平滑筋
12	第12章　運動；運動の調節①
13	運動の調節②
14	運動の調節③
15	運動の調節④
16	錐体路と錐体外路
17	発声と言語
18	まとめと復習
19	期末試験
20	試験解説・問題演習

九州医療スポーツ専門学校
令和3年度　スポーツ鍼灸学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
		○	

授業科目名	生理学4	担当者名	黒川　典子

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数	2				授業時間数				40		

授業概要	第13章　感覚～第15章　身体活動の協調　にかけてを学習する。
成績評価	平常点（小テスト等）、定期試験および追・再試験の結果にて評価を行う。
その他	実務経験なし

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	生理学（第3版）	佐藤優子・佐藤昭夫他　著 東洋療法学校協会編	医歯薬出版
参考図書			

回数	授業計画
1	第13章　感覚　;感覚の分類と一般～内臓感覚
2	;痛覚
3	;痛覚②
4	;特殊感覚
5	;特殊感覚②
6	;特殊感覚③
7	;特殊感覚④
8	まとめと復習
9	中間試験（第13章～14章）
10	第14章　生体の防御機構;生体の防御機構
11	;生体の防御機構②
12	;生体の防御機構③
13	;アレルギー反応
14	;アレルギー反応②
15	第15章　身体活動の協調;生体の適応
16	;恒常性維持
17	;バイオリズム
18	まとめと復習
19	期末試験（第14章～15章）
20	試験解説・問題演習

九州医療スポーツ専門学校
令和3年度　スポーツ鍼灸学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
		○	

授業科目名	運動学	担当者名	宮原　正人

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数	2				授業時間数				40		

授業概要	運動学人間の身体運動を科学的に研究する学問分野である。運動障害をもつ患者の治療にあたる医療従事者は、治療・訓練を行う際に、その前提に正常運動とはいかなるものかを理解しておく必要がある。そこで、1年次に学習した解剖学、生理学の基礎知識を基に、特に運動系（人間の運動にかかわる身体と構造）について総合的な理解を深めることを教育目標とする。
成績評価	原則として、定期試験および追・再試験の結果で評価する。
その他	実務経験なし

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	解剖学（第2版）	河野邦雄、伊藤隆造他著 （社）東洋療法学校協会編	医歯薬出版
参考図書	配布資料		

回数	授業計画
1	運動学総論
2	上肢の運動①
3	上肢の運動②
4	上肢の運動③
5	上肢の運動④
6	運動器の構造と機能①
7	運動器の構造と機能②
8	神経の構造と機能①
9	神経の構造と機能②
10	中間試験
11	下肢の運動①
12	下肢の運動②
13	下肢の運動③
14	体幹の運動①
15	体幹の運動②
16	姿勢・歩行
17	運動感覚・反射・随意運動
18	運動発達・運動学習
19	期末試験
20	期末試験解説

九州医療スポーツ専門学校
令和3年度　スポーツ鍼灸学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
		○	

授業科目名	病理学概論	担当者名	皆川　剛

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数	2				授業時間数				40		

授業概要	現代医学的観点からそれぞれの器官の疾患の病因、症状、疫学、検査、治療法を理解することを目的とする。
成績評価	原則として、中間試験、期末試験および追・再試験の結果で評価する。
その他	実務経験なし

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	病理学概論　第2版	滝澤 登一郎・畠山　茂　著 (社)東洋療法学校協会　編	医歯薬出版
参考図書			

回数	授業計画
1	総論 ＋ 病因① 内因
2	病因② 外因
3	循環障害① 充血・うっ血・出血・貧血
4	充血、うっ血
5	出血、血栓症
6	塞栓、梗塞、水腫(浮腫)
7	ショック
8	循環障害② 塞栓症・血栓症・梗塞・水腫
9	退行性病変
10	進行性病変①
11	中間試験 ＋ 進行性病変②
12	炎症① 総論
13	炎症② 分類
14	腫瘍① 総論
15	腫瘍② 分類
16	アレルギー
17	免疫異常
18	遺伝子異常
19	期末試験
20	解答解説

九州医療スポーツ専門学校
令和3年度　スポーツ鍼灸学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
		○	

授業科目名	臨床医学総論1	担当者名	村上　晋介

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数	2				授業時間数			40			

授業概要	現代医学で用いられる診察法と検査法について理解することを目的とする。 また症状別の病態についても習得していく。
成績評価	中間試験、期末試験に出席状況、授業態度等を考慮し、総合的に評価する。
その他	実務経験なし

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	臨床医学総論　第2版	奈良　信夫　著 (社)東洋療法学校協会　編	医歯薬出版
参考図書			

回数	授業計画
1	第1章　診察の概要　　第2章　診察の方法①(医療面接・身体診察)　医療面接
2	第2章　診察の方法②(医療面接・身体診察)　視診・触診
3	第2章　診察の方法③(医療面接・身体診察)　打診・聴診
4	第2章　診察の方法④(医療面接・身体診察)　まとめ
5	第3章　生命徴候(バイタルサイン)の診察①　体温・脈拍
6	第3章　生命徴候(バイタルサイン)の診察②　血圧・呼吸
7	第3章　生命徴候(バイタルサイン)の診察③　まとめ
8	第4章　全身の診察①　(顔貌・精神状態・言語・身体計測)
9	中間試験　　第4章　全身の診察②　(体型・栄養状態)
10	第4章　全身の診察③　(姿勢と体位・歩行)
11	第4章　全身の診察④　(皮膚状態・爪の状態・リンパ節)
12	第4章　全身の診察⑤　まとめ
13	第5章　局所の診察①　(頭部・顔面・眼)
14	第5章　局所の診察②　(鼻・耳・口腔・頸部)
15	第5章　局所の診察③　(胸部・乳房・肺・心臓)
16	第5章　局所の診察④　(腹部・背部・四肢の変形)
17	第5章　局所の診察⑤　まとめ
18	第6章　神経系の診察①　(感覚検査法・反射検査)
19	第6章　神経系の診察②　(脳神経系の検査・髄膜刺激症状)
20	期末試験

九州医療スポーツ専門学校
令和3年度　スポーツ鍼灸学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
		○	

授業科目名	臨床医学総論2	担当者名	早野　大孝

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数	2				授業時間数				40		

授業概要	現代医学で用いられる診察法と検査法について理解することを目的とする。 また症状別の病態についても習得していく。
成績評価	原則として、定期試験（中間試験2回、期末試験1回の計3回実施する）、追・再試験の結果、 及び出席により評価する。
その他	実務経験なし

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	臨床医学総論　第2版	奈良　信夫　著 （社）東洋療法学校協会　編	医歯薬出版
参考図書			

回数	授業計画
1	第7章　運動機能検査　1
2	第7章　運動機能検査　2
3	第7章　運動機能検査　3
4	中間試験（1回目）
5	第8章　その他の診察
6	第9章　臨床検査法　1
7	第9章　臨床検査法　2
8	第9章　臨床検査法　3
9	中間試験（2回目）
10	第10章　おもな症状の診察法　1
11	第10章　おもな症状の診察法　2
12	第10章　おもな症状の診察法　3
13	第10章　おもな症状の診察法　4
14	第10章　おもな症状の診察法　5
15	第10章　おもな症状の診察法　6
16	第10章　おもな症状の診察法　7
17	第10章　おもな症状の診察法　8
18	第11章　治療学　・　第12章　臨床心理
19	期末試験
20	解答解説

九州医療スポーツ専門学校
令和3年度　スポーツ鍼灸学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
		○	

授業科目名	臨床医学各論1	担当者名	早野　大孝

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数	2				授業時間数			40			

授業概要	現代医学的観点からそれぞれの器官の疾患の病因、症状、疫学、検査、治療法を 理解することを目的とする。
成績評価	原則として、定期試験（中間試験2回、期末試験1回の計3回実施する）、追・再試験の結果、 及び出席により評価する。
その他	実務経験なし

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	臨床医学各論　第2版	奈良　信夫・佐藤千史他　著 （社）東洋療法学校協会　編	医歯薬出版
参考図書			

回数	授業計画
1	第1章　感染症　1
2	第1章　感染症　2
3	第1章　感染症　3
4	第1章　感染症　4
5	第1章　感染症　5
6	中間試験（1回目）
7	第2章　消化管疾患　1
8	第2章　消化管疾患　2
9	第2章　消化管疾患　3
10	第2章　消化管疾患　4
11	第2章　消化管疾患　5
12	第2章　消化管疾患　6
13	中間試験（2回目）
14	第3章　肝・胆・膵疾患　1
15	第3章　肝・胆・膵疾患　2
16	第3章　肝・胆・膵疾患　3
17	第3章　肝・胆・膵疾患　4
18	第3章　肝・胆・膵疾患　5
19	期末試験
20	解答解説

九州医療スポーツ専門学校
令和3年度　スポーツ鍼灸学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
		○	

授業科目名	臨床医学各論2	担当者名	宮原　正人

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数	2				授業時間数					40	

授業概要	現代医学的観点からそれぞれの器官の疾患の病因、症状、疫学、検査、治療法を理解することを目的とする。
成績評価	原則として、授業態度、定期試験および追・再試験の結果で評価する。
その他	実務経験なし

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	臨床医学各論　第2版	奈良　信夫・佐藤千史他　著 （社）東洋療法学校協会　編	医歯薬出版
参考図書			

回数	授業計画
1	呼吸器疾患1
2	呼吸器疾患2
3	呼吸器疾患3
4	血液・造血疾患1
5	血液・造血疾患2
6	血液・造血疾患3
7	神経疾患1
8	神経疾患2
9	神経疾患3
10	中間試験・解答　解説
11	神経疾患4
12	神経疾患5
13	神経疾患6
14	その他の領域1
15	その他の領域2
16	その他の領域3
17	その他の領域4
18	その他の領域5
19	期末試験
20	期末試験解答・解説

九州医療スポーツ専門学校
令和3年度　スポーツ鍼灸学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
		○	

授業科目名	臨床医学各論3	担当者名	早野　大孝

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数	2				授業時間数					40	

授業概要	現代医学的観点からそれぞれの器官の疾患の病因、症状、疫学、検査、治療法を 理解することを目的とする。
成績評価	原則として、定期試験（中間試験2回、期末試験1回の計3回実施する）、追・再試験の結果、 及び出席により評価する。
その他	実務経験なし

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	臨床医学各論　第2版	奈良　信夫・佐藤千史他　著 （社）東洋療法学校協会　編	医歯薬出版
参考図書			

回数	授業計画
1	第5章　腎・尿器疾患　1
2	第5章　腎・尿器疾患　2
3	第5章　腎・尿器疾患　3
4	第5章　腎・尿器疾患　4
5	中間試験（1回目）　第6章　内分泌疾患　1
6	第6章　内分泌疾患　2
7	第6章　内分泌疾患　3
8	第6章　内分泌疾患　4
9	第7章　代謝・栄養疾患　1
10	第7章　代謝・栄養疾患　2
11	中間試験（2回目）　第9章　循環器疾患　1
12	第9章　循環器疾患　2
13	第9章　循環器疾患　3
14	第9章　循環器疾患　4
15	第9章　循環器疾患　5
16	第12章　リウマチ性疾患・膠原病　1
17	第12章　リウマチ性疾患・膠原病　2
18	第12章　リウマチ性疾患・膠原病　3
19	期末試験
20	解答・解説

九州医療スポーツ専門学校
令和3年度　スポーツ鍼灸学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
		○	

授業科目名	臨床医学各論4	担当者名	早野　大孝

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数	2				授業時間数						40

授業概要	臨床医学各論1～3の内容を詳細に確認し、総復習を行う。
成績評価	原則として、小テスト、定期試験および追・再試験の結果、及び出席により評価する。
その他	実務経験なし

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	臨床医学各論　第2版	奈良　信夫・佐藤千史他　著 (社)東洋療法学校協会　編	医歯薬出版
参考図書			

回数	授業計画
1	感染症
2	消化管疾患
3	肝・胆・膵疾患
4	呼吸器疾患
5	腎・尿器疾患
6	内分泌疾患
7	代謝・栄養疾患
8	整形外科疾患
9	中間試験
10	循環器疾患
11	血液・造血器疾患
12	神経疾患
13	リウマチ性疾患・膠原病
14	一般外科
15	麻酔科
16	婦人科疾患
17	皮膚科疾患
18	精神科疾患
19	期末試験
20	解答解説

九州医療スポーツ専門学校
令和3年度　スポーツ鍼灸学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
		○	

授業科目名	リハビリテーション医学	担当者名	馬男木　亨

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数	2				授業時間数					40	

授業概要	リハビリテーションの基礎のうち最も大切な障害学と運動学を習得し、正しい知識を深めることを目的とする。
成績評価	定期試験の成績、小テスト、出席状況、授業態度を総合的に判断し評価する。
その他	実務経験なし

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	リハビリテーション医学　第4版	土肥　信之　著 (社)東洋療法学校協会　編	医歯薬出版
参考図書	配布資料		

回数	授業計画
1	リハビリテーションと障害
2	リハビリテーションと医学と医療
3	障害の評価①
4	障害の評価②
5	脳卒中①
6	脳卒中②
7	脊髄損傷①
8	脊髄損傷②
9	切断①
10	中間試験　解答・解説
11	切断②
12	小児疾患
13	パーキンソン病
14	関節リウマチ
15	変形性関節症
16	呼吸器疾患
17	心疾患
18	運動学の基礎
19	期末試験
20	期末試験の解答・解説

九州医療スポーツ専門学校
令和3年度　スポーツ鍼灸学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	医療概論	担当者名	早野　大孝

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数	2				授業時間数					40	

授業概要	東西両医学・医療史および現代の医療制度，医療倫理についての理解を目的とする。
成績評価	原則として、定期試験および追・再試験の結果、及び出席により評価する。
その他	実務経験なし

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書			
参考図書			

回数	授業計画
1	現代の医療と社会（医療と社会）
2	現代の医療と社会（医療従事者）
3	現代の医療と社会（医療・福祉施設）
4	現代の医療と社会（医療経済）
5	社会保障制度（医療保険のしくみ）
6	社会保障制度（公費負担医療）
7	社会保障制度（介護サービス行政）
8	医療倫理（医療の倫理）
9	医療倫理（医療倫理教育）
10	医療倫理（施術者としての倫理）
11	医療について①
12	医療について②
13	医療について③
14	医療について④
15	医療について⑤
16	医療について⑥
17	医療について⑦
18	医療について⑧
19	期末試験
20	解答・解説

九州医療スポーツ専門学校
令和3年度　スポーツ鍼灸学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	衛生学公衆衛生学	担当者名	大庭　慎一朗

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数	2				授業時間数					40	

授業概要	人体と環境との繋がりを学び、医療に必要な衛生学的知識を習得させ、身につけることを目的とする。
成績評価	原則として、定期試験および追・再試験の結果、及び授業態度で評価する。
その他	実務経験なし

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	衛生学・公衆衛生学	鈴木庄亮・他著 （社）東洋療法学校協会編	医歯薬出版
参考図書			

回数	授業計画
1	衛生学について・第1章：衛生学とは
2	第2章：健康の概念2
3	第3章：ライフスタイルと健康
4	第4章：環境と健康：日常生活環境・環境問題1
5	第4章：環境問題2
6	第5章：産業保健
7	第6章：精神保健の意義、精神の健康、精神障害の現状と分類Ⅰ
8	第7章：母子保健
9	第8章：老人・高齢者保健の意義・加齢と老化・生活習慣病の特徴と対策
10	第8章：老人福祉対策、介護保険、難病対策の現状
11	第9章：感染症の意義と種類
12	第9章：発生要因・感染症
13	第10章：消毒法一般、消毒の種類
14	第11章：疫学
15	第12章：保健統計①
16	第12章：保健統計②
17	第12章：保健統計③
18	国際保健
19	期末試験
20	期末試験/解答・解説

九州医療スポーツ専門学校
令和3年度　スポーツ鍼灸学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	東洋医学概論1	担当者名	村上　晋介

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数	2				授業時間数	40					

授業概要	鍼灸治療に必要な基本的東洋医学の理論を学び、人体のとらえ方、疾病観について理解することを目的とする。
成績評価	原則として、中間試験、期末試験および追・再試験の結果で評価する。
その他	村上晋介（鍼灸施設勤務）

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	新版　東洋医学概論	教科書執筆小委員会著 （社）東洋医法学校協会編	医道の日本社
参考図書			

回数	授業計画
1	陰陽五行学説①（東洋医学の思想・陰陽の区分）
2	陰陽五行学説②（陰陽論）
3	陰陽五行学説③（陰陽論）
4	陰陽五行学説④（相生関係・相克関係・五行色体表）
5	陰陽五行学説⑤（相生関係・相克関係・五行色体表）
6	陰陽五行学説⑥　まとめ
7	精の生理と病理
8	気の生理と病理①（気の種類）
9	気の生理と病理②（気の作用・気の虚証）
10	中間試験　気の生理と病理③（気の虚証・実証）
11	血の生理と病理①（血の作用）
12	血の生理と病理②（血の不足による病理、血の運行障害による病理）
13	津液の生理と病理①
14	津液の生理と病理②
15	気・血・津液の生理と病理　まとめ
16	神の概念・生理・病理①
17	神の概念・生理・病理②
18	陰陽の生理と病理①（陰虚・陰盛）
19	陰陽の生理と病理②（陽虚・陽盛）
20	期末試験

九州医療スポーツ専門学校
令和3年度　スポーツ鍼灸学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	東洋医学概論2	担当者名	村上　晋介

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数	2				授業時間数		40				

授業概要	鍼灸治療に必要な基本的東洋医学の理論を学び、人体のとらえ方、疾病観について理解することを目的とする。
成績評価	原則として、中間試験、期末試験および追・再試験の結果で評価する。□
その他	村上晋介（鍼灸施設勤務）

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	新版　東洋医学概論	教科書執筆小委員会著 （社）東洋医法学校協会編	医道の日本社
参考図書			

回数	授業計画
1	経絡　経絡の構成・機能
2	蔵象学説　（五臓六腑の生理作用）①
3	蔵象学説　（五臓六腑の生理作用）②
4	蔵象学説　（五臓六腑の生理作用）③
5	蔵象学説　（五臓六腑の生理作用）④
6	蔵象学説　（五臓六腑の生理作用のまとめ）⑤
7	蔵象学説　（五臓六腑の病証）①
8	蔵象学説　（五臓六腑の病証）②
9	蔵象学説　（五臓六腑の病証）③
10	中間試験　蔵象学説　（五臓六腑の病証）④
11	蔵象学説　（五臓六腑の病証）⑤
12	蔵象学説　（五臓六腑の病証のまとめ）⑥
13	五臓の相互関係①
14	五臓の相互関係②
15	五臓の相互関係③
16	病因（外傷病因・内傷病因・病理産物その他の病因）・病機①　外傷病因（六淫の邪気）
17	病因（外傷病因・内傷病因・病理産物その他の病因）・病機②　内傷病因（七情・房事過多・労逸）
18	病因（外傷病因・内傷病因・病理産物その他の病因）・病機③
19	病因・病機④　まとめ
20	期末試験　解答・解説

九州医療スポーツ専門学校
令和3年度　スポーツ鍼灸学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	経絡経穴概論1	担当者名	小寺　凌

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数	2				授業時間数	40					

授業概要	東洋医学の診断・治療に深く関わる経絡と経穴の理解することを目的とする。 また、経穴と局所解剖の関連性を理解する。
成績評価	定期試験及び小テスト、追・再試の結果で評価する。
その他	小寺凌（鍼灸施設勤務）

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	新版　経絡経穴概論　第2版	教科書執筆委員会　著	医道の日本社
参考図書			

回数	授業計画
1	経絡経穴概論 基礎①
2	経絡経穴概論 基礎②
3	経絡経穴概論 基礎③
4	督脈①
5	督脈②
6	任脈①
7	任脈②
8	手の太陰肺経
9	手の陽明大腸経
10	中間試験
11	足の陽明胃経①
12	足の陽明胃経②
13	足の陽明胃経③
14	足の太陰脾経①
15	足の太陰脾経②
16	手の少陰心経
17	手の太陽小腸経①
18	手の太陽小腸経②
19	期末試験
20	解答解説

九州医療スポーツ専門学校
令和3年度　スポーツ鍼灸学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	経絡経穴概論2	担当者名	小寺　凌

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数	2				授業時間数		40				

授業概要	東洋医学の診断・治療に深く関わる経絡と経穴の理解することを目的とする。
成績評価	定期試験及び小テスト、追・再試の結果で評価する。
その他	小寺凌（鍼灸施設勤務）

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	新版　経絡経穴概論　第2版	教科書執筆委員会　著	医道の日本社
参考図書			

回数	授業計画
1	足の太陽膀胱経①
2	足の太陽膀胱経②
3	足の太陽膀胱経③
4	足の太陽膀胱経④
5	足の少陰腎経①
6	足の少陰腎経②
7	手の厥陰心包経
8	手の少陽三焦経①
9	手の少陽三焦経②
10	中間試験・解答解説
11	足の少陽胆経①
12	足の少陽胆経②
13	足の少陽胆経③
14	足の厥陰肝経①
15	足の厥陰肝経②
16	奇穴①
17	奇穴②
18	奇穴③
19	期末試験
20	解答解説

九州医療スポーツ専門学校
令和3年度　スポーツ鍼灸学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	経絡経穴概論3	担当者名	小寺　凌

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数	2				授業時間数		40				

授業概要	東洋医学の診断・治療に深く関わる経絡と経穴の理解することを目的とする。
成績評価	定期試験及び小テスト、追・再試の結果で評価する。
その他	小寺凌(鍼灸施設勤務)

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	新版　経絡経穴概論　第2版	教科書執筆委員会　著	医道の日本社
参考図書			

回数	授業計画
1	要穴①
2	要穴②
3	奇経八脈①
4	奇経八脈②
5	デルマトーム・経穴現象
6	頭部・顔面部の経穴
7	頸部・上腕・前腕の経穴
8	腹部・背部の経穴
9	下肢の経穴
10	中間試験
11	経脈の意義　試験対策
12	経穴の意義と概要　試験対策
13	所属経穴を持つ奇経　試験対策
14	正経十二経脈　試験対策①
15	正経十二経脈試験対策②
16	経穴の応用　試験対策①
17	経穴の応用　試験対策②
18	現代医学的研究
19	期末試験
20	解答解説

九州医療スポーツ専門学校
令和3年度　スポーツ鍼灸学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	東洋医学診断論1	担当者名	小寺　凌

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
								40			

授業概要	東洋医学の診察法である四診について、また、治療法である治則・治法について学び、東洋医学的な鑑別診断に用いる知識を学ぶ。
成績評価	原則として、定期試験および追・再試験の結果で評価する。
その他	小寺凌（鍼灸施設勤務）

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	東洋医学概論	教科書執筆委員会　著	医道の日本社
参考図書			

回数	授業計画
1	四診法と弁証論治
2	望診①
3	望診②
4	望診③
5	望診④
6	聞診
7	問診①
8	問診②
9	問診③
10	中間試験　解答・解説
11	切診①
12	切診②
13	切診③
14	切診④
15	切診⑤
16	切診⑥
17	弁証①
18	論治①
19	期末試験
20	解答解説

九州医療スポーツ専門学校
令和3年度　スポーツ鍼灸学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	東洋医学診断論2	担当者名	小寺　凌

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
									40		

授業概要	症状に対して、東洋医学的病態把握（弁証論治）、治療方法（配穴）を習得する。
成績評価	定期試験および追・再試験の結果で評価する。
その他	小寺凌（鍼灸施設勤務）

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	東洋医学臨床論	教科書執筆小委員会著 （社）東洋医法学校協会編	医道の日本社
参考図書			

回数	授業計画
1	頭痛
2	顔面痛、顔面麻痺
3	歯痛、眼精疲労
4	鼻閉、鼻汁、脱毛症
5	めまい、耳鳴、難聴
6	咳嗽、喘息
7	胸痛、腹痛
8	悪心、嘔吐
9	便秘、下痢
10	中間試験　解答・解説
11	月経異常
12	排尿障害、インポテンス
13	高血圧、低血圧
14	食欲不振、肥満
15	発熱、のぼせ、冷え
16	不眠、倦怠感
17	発赤、小児症状
18	まとめ
19	期末試験
20	解答解説

九州医療スポーツ専門学校
令和3年度　スポーツ鍼灸学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	東洋医学臨床論1	担当者名	小寺　凌

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数	2				授業時間数				40		

授業概要	患者さんの主訴に対する西洋医学的(現代医学的)な病態把握、治療を学ぶ。
成績評価	定期試験および追・再試験の結果で評価する。
その他	小寺凌(鍼灸施設勤務)

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	東洋医学臨床論	教科書執筆小委員会著 (社)東洋医法学校協会編	医道の日本社
参考図書			

回数	授業計画
1	腰部の解剖　股関節の解剖
2	腰下肢痛①
3	腰下肢痛②　神経学的診断
4	腰下肢痛③　神経学的診断
5	股関節痛
6	膝の解剖
7	膝痛
8	下肢の疾患①
9	下肢の疾患②
10	中間試験　解答・解説
11	頸部の解剖
12	頚肩腕痛①
13	頚肩腕痛②　神経学的診断
14	頚肩腕痛③　神経学的診断
15	胸郭出口症候群
16	肩関節の解剖　肩関節疾患①
17	上肢の解剖　上腕二頭筋長頭腱炎
18	絞扼神経障害(橈骨神経・正中神経・尺骨神経)
19	期末試験
20	解答・解説

九州医療スポーツ専門学校
令和3年度　スポーツ鍼灸学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	東洋医学臨床論2	担当者名	馬男木　亨

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数	2				授業時間数					40	

授業概要	東洋医学概論で学んだ概念を元に、臨床上遭遇しやすい疾患・症候についての概要と治療法を理解することを目的とする。 また治療の適不適の鑑別を判断し適切な鍼灸治療が行えるように、東洋医学的、西洋医学的の両観点から疾患の知識を深める。
成績評価	原則として、定期試験および追・再試験の結果で評価する。
その他	馬男木亨（鍼灸施設勤務）

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	東洋医学臨床論	教科書執筆小委員会著 （社）東洋療法学校協会編	医道の日本社
参考図書			

回数	授業計画
1	神経・筋疾患①
2	神経・筋疾患②
3	神経・筋疾患③
4	運動器疾患①
5	運動器疾患②
6	運動器疾患③
7	スポーツ障害①
8	スポーツ障害②
9	現代医学的治療の考え方
10	中間試験　解答・解説
11	消化器疾患
12	呼吸器疾患
13	循環器疾患
14	泌尿器疾患
15	婦人科膝関
16	耳鼻咽喉疾患
17	膠原病
18	その他の内科疾患・老年医学
19	期末試験
20	期末試験/解答・解説

九州医療スポーツ専門学校
令和3年度　スポーツ鍼灸学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	東洋医学臨床論3	担当者名	馬男木　亨

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数	2				授業時間数						40

授業概要	東洋医学概論で学んだ概念を元に、臨床上遭遇しやすい疾患・症候についての概要と治療法を理解することを目的とする。 また治療の適不適の鑑別を判断し適切な鍼灸治療が行えるように、東洋医学的、西洋医学的の両観点から疾患の知識を深める。
成績評価	原則として、定期試験および追・再試験の結果で評価する。
その他	馬男木亨（鍼灸施設勤務）

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	東洋医学臨床論	教科書執筆小委員会著 （社）東洋療法学校協会編	医道の日本社
参考図書			

回数	授業計画
1	東洋医学臨床論:基礎①
2	東洋医学臨床論:基礎②
3	東洋医学臨床論:基礎③
4	東洋医学臨床論:基礎④
5	東洋医学臨床論:基礎⑤
6	東洋医学臨床論:基礎⑥
7	東洋医学臨床論:基礎⑦
8	東洋医学臨床論:基礎⑧
9	東洋医学臨床論:基礎⑨
10	中間試験　解答・解説
11	東洋医学臨床論:臨床①
12	東洋医学臨床論:臨床②
13	東洋医学臨床論:臨床③
14	東洋医学臨床論:臨床④
15	東洋医学臨床論:臨床⑤
16	東洋医学臨床論:臨床⑥
17	東洋医学臨床論:臨床⑦
18	東洋医学臨床論:臨床⑧
19	期末試験
20	期末試験/解答・解説

九州医療スポーツ専門学校
令和3年度　スポーツ鍼灸学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	鍼灸理論1	担当者名	小寺　凌

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数	2				授業時間数	40					

授業概要	医療の中で求められる鍼灸治療の基本知識や生体反応について理解し、東洋医学と西洋医学の相互理解を深めることを目的とする。 またここでは鍼灸臨床で用いる器具、技術、衛生処置、リスク管理について学ぶ。
成績評価	原則として、定期試験および追・再試験の結果で評価する。
その他	小寺凌（鍼灸施設勤務）

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	はりきゅう理論	教科書執筆委員会　著	医道の日本社
参考図書			

回数	授業計画
1	概論・鍼灸施術の意義
2	鍼灸施術の特徴
3	鍼の基礎知識・用具
4	鍼の基礎知識・古代九鍼
5	刺鍼の方式と刺鍼の術式①
6	刺鍼の術式②
7	特殊鍼法①
8	特殊鍼法②
9	①～⑧のまとめ
10	中間試験
11	灸の基礎知識
12	灸術の種類
13	リスク管理①
14	リスク管理②
15	リスク管理③、消毒
16	関連学説①
17	関連学説②
18	関連学説③
19	期末試験
20	解答解説

九州医療スポーツ専門学校
令和3年度　スポーツ鍼灸学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	鍼灸理論2	担当者名	黒川　典子

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数	2				授業時間数					40	

授業概要	医療の中で求められる鍼灸治療の基本知識や生体反応について理解し、東洋医学と 西洋医学の相互理解を深めることを目的とする。 ここでは鍼灸臨床で用いる器具、技術、衛生処置、リスク管理、生体反応、研究、学説について学ぶ。
成績評価	原則として、小テスト、定期試験および追・再試験の結果、及び出席により評価する。
その他	黒川典子（鍼灸施設勤務）

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	はりきゅう理論	教科書執筆小委員会著 （社）東洋療法学校協会編	医道の日本社
参考図書			

回数	授業計画
1	鍼灸の基礎 1
2	鍼灸の基礎 2
3	鍼灸の基礎 3
4	鍼灸と自律神経 1
5	鍼灸と自律神経 2
6	鍼灸と自律神経 3
7	関連学説 1
8	関連学説 2
9	中間試験
10	治効の基礎 1
11	治効の基礎 2
12	治効の基礎 3
13	治効の基礎 4
14	治効の基礎 5
15	治効の基礎 6
16	治効の基礎 7
17	鍼灸と免疫機構 1
18	鍼灸と免疫機構 2
19	期末試験
20	期末試験/解答・解説

九州医療スポーツ専門学校
令和3年度　スポーツ鍼灸学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	社会鍼灸学	担当者名	河口　弘幸

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数	2				授業時間数					40	

授業概要	現代社会においてのはり師・きゅう師の役割や社会的ニーズを、歴史や関係する法律を踏まえて学ぶ
成績評価	原則として、定期試験および追・再試験の結果で評価する。
その他	河口弘幸（鍼灸施設勤務）

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	関係法規、医療概論	教科書執筆小委員会　著 （社）東洋療法学校協会　編	医道の日本社
参考図書			

回数	授業計画
1	オリエンテーション＋世界医療史
2	東洋医学史
3	日本医学史①
4	日本医学史②
5	現代の医療制度とその問題点①：福祉法規、社会保険など
6	現代の医療制度とその問題点②：医療費の問題（医療費増大の問題、公費負担医療について）
7	あはき法①（「免許」「取得・再交付・身分の消滅と復活」）
8	あはき法②（業務内容・施術所・罰則①）
9	あはき法③（業務内容・施術所・罰則②）
10	あはき法④「罰則」、法の種類、医療法、医師法、 中間試験
11	医療従事者に関する法律（医師と薬剤師）、保健一般に関する法律、予防衛生に関する法律
12	あはき法③（業務内容・施術所・罰則②）
13	あはき法③（業務内容・施術所・罰則②）
14	あはき法③（業務内容・施術所・罰則②）
15	あはき法③（業務内容・施術所・罰則②）
16	環境衛生に関する法律、社会福祉関係法規、介護保険制度
17	鍼灸師が活躍する場①（開業鍼灸師）
18	鍼灸師が活躍する場②（病院勤務鍼灸師）
19	期末試験
20	期末試験/解答・解説

九州医療スポーツ専門学校
令和3年度　スポーツ鍼灸学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	基礎実技1	担当者名	中村　裕司

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数			1		授業時間数	40					

授業概要	基礎的な鍼の技術を安全かつ衛生的に行えることを習得することを目的とする。 また過誤や副作用についてしっかりと意識付ける。
成績評価	実技小テストの点数と、期末試験の点数に平常点として出席状況、授業態度等医療人としての 自覚を加味して総合的に評価します。 実技小テストは独自の採点基準のもと厳粛に採点します。
その他	中村裕司（鍼灸施設勤務）

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	はりきゅう実技　基礎編	教科書執筆小委員会著 （社）東洋療法学校協会編	医道の日本社
参考図書			

回数	授業計画
1	準備と片付け
2	刺鍼手順
3	感染症対策、挿管法
4	揉撚法、押手、切皮
5	刺入
6	刺鍼の術式①
7	刺鍼の術式②
8	まとめ①
9	実技小テスト
10	実技小テスト
11	刺鍼練習器の使い方
12	鍼灸療法の適応と禁忌
13	鍼灸療法の過誤と副作用　①
14	鍼灸療法の過誤と副作用　②
15	鍼灸療法の過誤と副作用　③
16	斜刺・横刺のやり方
17	体位変換
18	まとめ②
19	期末試験
20	期末試験

九州医療スポーツ専門学校
令和3年度　スポーツ鍼灸学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	基礎実技2	担当者名	河口　弘幸

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数			1		授業時間数	40					

授業概要	基礎的な灸の技術を安全かつスムーズに行えるようにする。 米粒大、半米粒大以外の大きさも修得し、熱さをコントロールできるようにする。
成績評価	定期試験の点数に平常点として出席状況、授業態度等医療人としての自覚を加味して 総合的に評価します。また、課題の提出も考慮します。
その他	河口弘幸（鍼灸施設勤務）

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	はりきゅう実技　基礎編	教科書執筆小委員会著 （社）東洋療法学校協会編	医道の日本社
参考図書			

回数	授業計画
1	灸とは何か
2	施灸練習（ベニヤ施灸）
3	施灸練習（ベニヤ施灸）
4	施灸練習（ベニヤ施灸）　点火開始
5	施灸練習（ベニヤ施灸）
6	施灸練習（ベニヤ施灸）
7	施灸練習（ベニヤ施灸）
8	施灸練習（ベニヤ施灸）＋竹への施灸
9	施灸練習（ベニヤ施灸）＋竹への施灸
10	中間テスト
11	施灸練習（ベニヤ施灸）＋（自足施灸）
12	施灸練習（ベニヤ施灸）＋（自足施灸）
13	施灸練習（ベニヤ施灸）＋（自足施灸）
14	施灸練習（ベニヤ施灸）＋（自足施灸）
15	施灸練習（自足施灸）＋（他者の失眠穴に施灸）
16	施灸練習（自足施灸）＋（他者の失眠穴に施灸）
17	施灸練習（自足施灸）＋（他者の足三里・三陰交穴に施灸）
18	期末試験の説明＋（他者の足三里・三陰交穴に施灸）
19	まとめ
20	期末試験

九州医療スポーツ専門学校
令和3年度　スポーツ鍼灸学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	基礎実技3	担当者名	中村　裕司

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数			1		授業時間数		40				

授業概要	基礎的な鍼の技術を安全かつ衛生的にパートナーに行えることを習得することを目的とする。 また過誤や副作用についてしっかりと意識付ける。
成績評価	実技小テストの点数と、期末試験の点数に平常点として出席状況、授業態度等医療人としての 自覚を加味して総合的に評価します。 実技小テストは独自の採点基準のもと厳粛に採点します。
その他	中村裕司（鍼灸施設勤務）

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	はりきゅう実技　基礎編	教科書執筆小委員会著 （社）東洋療法学校協会編	医道の日本社
参考図書			

回数	授業計画
1	タオルワーク、斜刺・横刺のやり方
2	下肢前面の刺鍼
3	下肢後面の刺鍼
4	下肢側面の刺鍼
5	上肢後面の刺鍼
6	上肢前面の刺鍼
7	坐位での上肢刺鍼
8	上下肢の刺鍼（まとめ）
9	実技小テスト
10	実技小テスト
11	タオルワーク、旋撚刺法
12	タオルワーク、旋撚刺法
13	腰部、殿部の刺鍼
14	血圧測定
15	頭頸部の刺鍼　＋　血圧測定
16	頭頸部の刺鍼　＋　血圧測定
17	自分へ井穴刺鍼　＋　相手へ刺鍼（顔面部）
18	胸郭刺鍼・腹部刺鍼（切皮のみ）
19	期末試験
20	期末試験

九州医療スポーツ専門学校
令和3年度　スポーツ鍼灸学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	基礎実技4	担当者名	河口　弘幸

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数			1		授業時間数		40				

授業概要	基礎的な灸の技術を安全かつ衛生的にパートナーに行えることを習得することを目的とする。 また過誤や副作用についてしっかりと意識付ける。
成績評価	定期試験の点数に平常点として出席状況、授業態度等医療人としての自覚を加味して 総合的に評価します。また、課題の提出も考慮します。
その他	河口弘幸（鍼灸施設勤務）

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	はりきゅう実技　基礎編	教科書執筆小委員会著 （社）東洋療法学校協会編	医道の日本社
参考図書			

回数	授業計画
1	2点3壮施灸について
2	上肢外側面への施灸①大腸経
3	上肢外側面への施灸②三焦経
4	上肢内側面への施灸①肺経
5	上肢内側面への施灸②心経・心包経
6	下肢前面への施灸練習①胃経
7	下肢前面への施灸練習②脾経
8	下肢前面への施灸練習③胆経
9	中間テスト
10	中間テスト
11	腹部への施灸
12	腰部への施灸
13	背部への施灸
14	頭部への施灸
15	上肢への施灸
16	下肢への施灸
17	下肢への施灸
18	隔物灸
19	期末試験
20	期末試験

九州医療スポーツ専門学校
令和3年度　スポーツ鍼灸学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	応用実技1	担当者名	河口　弘幸

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数			1		授業時間数			40			

授業概要	伝統医学における鍼灸臨床は、四診法（望・聞・問・切診）を行い、弁証論治に基づき処方と配穴を行う。 そこで、四診法を体得し、弁証論治を習得する。
成績評価	中間試験、期末試験および授業態度を考慮し、総合的に評価する。
その他	河口弘幸（鍼灸施設勤務）

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	配布プリント		
参考図書			

回数	授業計画
1	ガイダンス　　望診（顔面診）
2	望診（舌診）①
3	望診（舌診）②
4	聞診
5	問診①
6	問診②
7	切診①（脈診）
8	切診②（脈診）
9	切診③（脈診）
10	中間試験
11	切診（腹診）①
12	切診（腹診）②
13	切診（背診）①
14	切診（背診）②
15	切診（切経、切穴）
16	四診法まとめ
17	四診法から弁証論治①
18	四診法から弁証論治②
19	期末試験
20	解答解説

九州医療スポーツ専門学校
令和3年度　スポーツ鍼灸学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	応用実技2	担当者名	宮原　正人

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数			1		授業時間数			40			

授業概要	日常で障害されやすい筋肉の触診と、その筋に対して正確でスムーズな施術を体得する。 その中で、鍼通電療法（パルス）を体得する。
成績評価	中間試験、期末試験および授業態度を考慮し、総合的に評価する。
その他	宮原正人（鍼灸施設勤務）

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書			
参考図書	図解　整形外科学検査法		

回数	授業計画
1	ガイダンス　　低周波鍼通電療法の使い方
2	下腿部の触診
3	下腿部（伸筋群）のパルス①（前脛骨筋、長指伸筋、腓腹筋など）
4	下腿部（屈筋群）のパルス②（腓腹筋、長趾屈筋、後脛骨筋など）
5	大腿部の触診
6	大腿部のパルス（大腿四頭筋、大腿二頭筋など）
7	前腕部の触診
8	前腕部（伸筋群）のパルス①（橈側手根伸筋、総指伸筋など）
9	前腕部（屈筋群）のパルス②（橈側手根屈筋、腕橈骨筋など）
10	中間試験
11	上腕部の触診
12	上腕部のパルス（上腕二頭筋、上腕三頭筋、三角筋など）
13	肩甲部の触診
14	肩甲部のパルス（棘上筋、棘下筋、肩甲挙筋など）
15	腰背部の触診
16	腰背部のパルス（僧帽筋、脊柱起立筋、腰方形筋など）
17	頭部、頸部の触診
18	頭部、頸部のパルス（板状筋、斜角筋、胸鎖乳突筋など）
19	期末試験
20	解答解説

九州医療スポーツ専門学校
令和3年度　スポーツ鍼灸学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	応用実技3	担当者名	中村　裕司

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数			1		授業時間数			40			

授業概要	鍼灸臨床でよく用いられる経穴のスムーズな取穴と施術を体得する。
成績評価	配点の割合は、中間試験5割、期末試験5割で行う。 取穴実技、小テスト、 平常点(授業に対する姿勢)・出席点などで総合的に評価する。
その他	中村裕司（鍼灸施設勤務）

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	新版　経絡経穴概論	教科書執筆小委員会著 （社）東洋療法学校協会編	医道の日本社
参考図書			

回数	授業計画
1	授業の説明、試験の説明、骨度寸法
2	手の太陰肺経、手の陽明大腸経の取穴
3	手の少陰心経、手の太陽小腸経の取穴
4	手の厥陰心包経、手の少陽三焦経の取穴
5	背部兪穴の取穴①
6	背部兪穴の取穴②
7	手の三陰経で取穴
8	手の三陽経で取穴
9	要穴の筆記試験、取穴練習
10	中間試験
11	足の陽明胃経、足の太陰脾経の取穴
12	足の太陽膀胱経、足の少陰腎経の取穴
13	足の少陽胆経、足の厥陰肝経の取穴
14	募穴の取穴①
15	募穴の取穴②
16	足の三陰経で取穴
17	足の三陽経で取穴
18	取穴練習
19	要穴の筆記試験、取穴練習
20	期末試験

九州医療スポーツ専門学校
令和3年度　スポーツ鍼灸学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	応用実技4	担当者名	中村　裕司

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数			1		授業時間数			40			

授業概要	現代医学的に病態を把握する中で、必ず必要となる検査法を習得する。
成績評価	中間試験、期末試験および授業態度を考慮し、総合的に評価する。
その他	中村裕司（鍼灸施設勤務）

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	はりきゅう実技　基礎編	教科書執筆小委員会著 （社）東洋療法学校協会編	医道の日本社
参考図書			

回数	授業計画
1	頸部と上肢の検査
2	頸部と上肢の検査
3	頸部と上肢の検査
4	頸部と上肢の検査
5	頸部と上肢の検査
6	頸部と上肢の検査
7	頸部と上肢の検査
8	頸部と上肢の検査
9	頸部と上肢の検査
10	中間試験
11	腰部と下肢の検査
12	腰部と下肢の検査
13	腰部と下肢の検査
14	腰部と下肢の検査
15	腰部と下肢の検査
16	腰部と下肢の検査
17	腰部と下肢の検査
18	腰部と下肢の検査
19	期末試験
20	解答解説

九州医療スポーツ専門学校
令和3年度　スポーツ鍼灸学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	応用実技5	担当者名	中村　裕司

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数			1		授業時間数				40		

授業概要	ここでは基礎で学んだ技術に身体の各部位別に適切な刺鍼・施灸が行えることを目的とする。 また疾患の鑑別に必要な検査法を習得することを目的とする。
成績評価	実技小テストの点数と、期末試験の点数に平常点として出席状況、授業態度等医療人としての 自覚を加味して総合的に評価します。
その他	中村裕司（鍼灸施設勤務）

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書			
参考図書	図解　整形外科学検査法	新関真人	医道の日本

回数	授業計画
1	膝：検査法①：ＯＡに対する検査法
2	膝：検査法②：外傷に対する検査法
3	膝：刺鍼・施灸　1
4	膝：刺鍼・施灸　2
5	膝：刺鍼・施灸　3
6	足関節：検査　1
7	足関節：検査　2
8	足関節：刺鍼・施灸　1
9	足関節：刺鍼・施灸　2
10	足関節：刺鍼・施灸　3
11	腰下肢・殿部：検査法　1
12	腰下肢・殿部：検査法　2
13	腰下肢・殿部：刺鍼・施灸　1
14	腰下肢・殿部：刺鍼・施灸　2
15	腰下肢・殿部：刺鍼・施灸　3
16	腰下肢・殿部：股関節周囲への刺鍼　1
17	腰下肢・殿部：股関節周囲への刺鍼　2
18	腰下肢・殿部：坐骨神経への刺鍼　1
19	腰下肢・殿部：坐骨神経への刺鍼　2
20	期末試験

九州医療スポーツ専門学校
令和3年度　スポーツ鍼灸学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	応用実技6	担当者名	大庭　慎一朗

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数			1		授業時間数				40		

授業概要	ここでは基礎で学んだ技術に身体の各部位別に適切な刺鍼・施灸が行えることを目的とする。 また疾患の鑑別に必要な検査法を習得することを目的とする。
成績評価	実技小テストの点数と、期末試験の点数に平常点として出席状況、授業態度等医療人としての 自覚を加味して総合的に評価します。
その他	大庭慎一朗（鍼灸施設勤務）

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	はりきゅう実技　基礎編	教科書執筆小委員会著 （社）東洋療法学校協会編	医道の日本社
参考図書	図解　整形外科学検査法	新関真人	医道の日本

回数	授業計画
1	肩関節：検査法・関節可動域検査　1
2	肩関節：検査法・関節可動域検査　2
3	肩関節：刺鍼・施灸　1
4	肩関節：刺鍼・施灸　2
5	肩関節：刺鍼・施灸　3
6	頚部：検査法・関節可動域検査　1
7	頚部：検査法・関節可動域検査　2
8	頚部：刺鍼・施灸　1
9	頚部：刺鍼・施灸　2
10	頚部：刺鍼・施灸　3
11	胸郭：検査法　1
12	胸郭：刺鍼・施灸　1
13	胸郭：刺鍼・施灸　2
14	胸郭：刺鍼・施灸　3
15	自由上肢：検査法　1
16	自由上肢：検査法　2
17	自由上肢：刺鍼・施灸　1
18	自由上肢：刺鍼・施灸　2
19	期末試験
20	総復習、まとめ

九州医療スポーツ専門学校
令和3年度　スポーツ鍼灸学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	臨床実技1	担当者名	小寺　凌

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数			1		授業時間数					40	

授業概要	中医学と経絡治療を基盤とした伝統医学的治療の考え方、治療法を体得する。
成績評価	期末試験の点数に平常点として出席状況、授業態度等医療人としての自覚を加味して総合的に評価します。
その他	小寺凌(鍼灸施設勤務)

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	配布プリント		
参考図書	経絡経穴概論	教科書執筆小委員会著 (社)東洋療法学校協会編	医道の日本社

回数	授業計画
1	オリエンテーション、背候診①
2	背候診②
3	腹診
4	原穴診と東洋医学的問診票
5	舌診と脈診
6	四診法の流れ、経絡テスト
7	弁証論治①
8	弁証論治②
9	VAMFIT①
10	VAMFIT②
11	経筋治療①
12	経筋治療②
13	奇経治療①
14	奇経治療②
15	長野式基本処置①
16	長野式基本処置②
17	弁証論治③
18	弁証論治④
19	期末試験
20	期末試験/解答・解説

九州医療スポーツ専門学校
令和3年度　スポーツ鍼灸学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	臨床実技2	担当者名	大中　孝子

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数			1		授業時間数					40	

授業概要	レディース鍼灸（女性特有の疾患・症状）について治療の考え方、治療法を体得する。
成績評価	定期試験の成績、出席状況、授業態度を総合的に判断し評価する。
その他	大中孝子（鍼灸施設勤務）

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	配布プリント		
参考図書			

回数	授業計画
1	レディース鍼灸について
2	自律神経の調整（冷え～不定愁訴）
3	婦人科：周期異常
4	婦人科：月経痛①
5	婦人科：月経痛①
6	婦人科：不妊
7	婦人科：骨盤位
8	マタニティ鍼灸：妊娠時へのアプローチ
9	更年期障害
10	美容の鍼①
11	美容の鍼②
12	美容の鍼③
13	美容の鍼④
14	美容の鍼⑤
15	美容の鍼⑥
16	美容の鍼⑦
17	美容の鍼⑧
18	美容の鍼⑨
19	期末試験
20	期末試験/解答・解説

九州医療スポーツ専門学校
令和3年度　スポーツ鍼灸学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	臨床実技3	担当者名	宮原　正人

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数			1		授業時間数						40

授業概要	トリガーポイントの関連痛部位を理解し適切な治療を行える。 足関節の構造を理解し、スターアップ・ホースシュー・ヒールロック・フィギュアエイトを巻くことができる。 解剖学を理解し適切な部位・深度・刺入方法で鍼を刺入することができる。
成績評価	レポート提出、出席状況、授業態度等医療人としての自覚を加味して総合的に評価します。
その他	宮原正人（鍼灸施設勤務）

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	配布プリント		
参考図書	東洋医学臨床論	教科書執筆小委員会著 （社）東洋療法学校協会編	医道の日本社

回数	授業計画
1	トリガーポイント　下肢　1
2	トリガーポイント　下肢　2
3	トリガーポイント　上肢　1
4	トリガーポイント　上肢　2
5	トリガーポイント　頸部　1
6	トリガーポイント　頸部　2
7	テーピング　1
8	テーピング　2
9	テーピング　3
10	西洋医学的鍼治療　上肢　1
11	西洋医学的鍼治療　上肢　2
12	西洋医学的鍼治療　体幹　1
13	西洋医学的鍼治療　体幹　2
14	西洋医学的鍼治療　体幹　3
15	西洋医学的鍼治療　腰背部　1
16	西洋医学的鍼治療　腰背部　2
17	西洋医学的鍼治療　下肢　1
18	西洋医学的鍼治療　下肢　2
19	期末試験
20	期末試験/解答・解説

九州医療スポーツ専門学校
令和3年度　スポーツ鍼灸学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	臨床実技4	担当者名	村上　晋介

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数			1		授業時間数						40

授業概要	鍼灸臨床でよく見られる不定愁訴を中心に、現代医学的アプローチ、東洋医学的アプローチによる治療を学ぶ。
成績評価	期末試験および授業態度を考慮し、総合的に評価する。
その他	村上晋介（鍼灸施設勤務）

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
	配布プリント		

回数	授業計画
1	頸肩腕痛に対する鍼灸治療①
2	頸肩腕痛に対する鍼灸治療②
3	肩関節痛に対する鍼灸治療①（肩関節周囲炎・腱板炎）
4	肩関節痛に対する鍼灸治療②（肩関節周囲炎・腱板炎）
5	腰痛に対する鍼灸治療①（筋筋膜性腰痛・椎間関節性腰痛）
6	腰痛に対する鍼灸治療②（筋筋膜性腰痛・椎間関節性腰痛）
7	腰痛（下肢症状を伴う）に対する鍼灸治療③（ヘルニア・坐骨神経痛）
8	腰痛（下肢症状を伴う）に対する鍼灸治療④（ヘルニア・坐骨神経痛） 坐骨神経刺鍼（鍼通電）
9	股関節痛に対する鍼灸治療
10	膝痛（変形性膝関節症・ランナー膝）に対する鍼灸治療①
11	膝痛（変形性膝関節症・ランナー膝）に対する鍼灸治療② 大腿筋膜張筋刺鍼（鍼通電）
12	胸郭出口症候群に対する鍼灸治療①
13	胸郭出口症候群に対する鍼灸治療②
14	特殊鍼法（神経パルス）①（正中神経パルス・尺骨神経パルス）
15	特殊鍼法（神経パルス）②（肩甲上神経パルス・肩甲背神経パルス）
16	特殊鍼法（神経パルス）③ 電気鍍鍼を用いた神経パルス（上肢の筋）
17	特殊鍼法（神経パルス）④ 電気鍍鍼を用いた神経パルス（下肢の筋）
18	治療のまとめ
19	期末試験
20	期末試験/解答・解説

九州医療スポーツ専門学校
令和3年度　スポーツ鍼灸学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	臨床実技5	担当者名	馬男木　亨

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数			1		授業時間数						40

授業概要	我が国は超高齢社会となり、益々高齢者の割合が増えることが予測される。そこで、東西両方の観点から 高齢者特有の疾患・症状を理解し、適切な鍼灸治療を体得する。
成績評価	定期試験の成績、出席状況、授業態度を総合的に判断し評価する。
その他	馬男木亨（鍼灸施設勤務）

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	配布プリント		
参考図書			

回数	授業計画
1	肩凝り、頭痛
2	眩暈、耳鳴、難聴
3	脳卒中後後遺症
4	ロールプレイ①
5	運動器症状（腰痛、膝OA）
6	排尿障害（夜間頻尿、過活動膀胱、前立腺肥大症）
7	排便障害（便秘、下痢）
8	ロールプレイ②
9	パーキンソン病
10	不眠
11	うつ
12	ロールプレイ③
13	糖尿病
14	帯状庖疹
15	認知症
16	ロールプレイ④
17	治療のまとめ①
18	治療のまとめ②
19	期末試験
20	期末試験/解答・解説

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

九州医療スポーツ専門学校
令和3年度　スポーツ鍼灸学科

授業科目名	臨床実習１	担当者名	大中　孝子

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数				1	授業時間数				45		

授業概要	患者に接する医療人としての姿勢をみにつける医療面接を行う。 医療面接の目的である「ラポールの形成」「情報聴取」「患者教育」の3点の意識づけ。 日常的に行っている人への接し方が、ロールプレイを通じてどのように感じられているのかを「気づき」、自分なりに「受容」し「検討」する。
成績評価	授業後に記載するレポート提出と、定期試験による医療面接のロールプレイにて評価する。
その他	大中孝子（鍼灸施設勤務）

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書			
参考図書			

回数	授業計画
1	オリエンテーション
2	オリエンテーション
3	医療面接　医療面接技法　1
4	医療面接　医療面接技法　2
5	医療面接　コミュニケーションの方法　1
6	医療面接　コミュニケーションの方法　2
7	医療面接　問診項目のチェック、導入　一般的問診　1
8	医療面接　問診項目のチェック、導入　一般的問診　2
9	医療面接　問診項目のチェック、導入　一般的問診　3
10	医療面接　問診項目のチェック、導入　十問診　1
11	医療面接　問診項目のチェック、導入　十問診　2
12	医療面接　問診項目のチェック、導入　十問診　3
13	医療面接　ピュアレビュー　1
14	医療面接　ピュアレビュー　2
15	医療面接　ピュアレビュー　3
16	メモを取りながらの医療面接　ロールプレイ　1
17	メモを取りながらの医療面接　ロールプレイ　2
18	メモを取りながらの医療面接　ロールプレイ　3
19	メモを取りながらの医療面接　ロールプレイ　4
20	メモを取りながらの医療面接　ロールプレイ　5
21	カルテの書き方説明、カルテ記入　1
22	カルテの書き方説明、カルテ記入　2
23	カルテの書き方説明、カルテ記入　3
24	カルテ記載による医療面接　ロールプレイ　1
25	カルテ記載による医療面接　ロールプレイ　2
26	カルテ記載による医療面接　ロールプレイ　3
27	カルテ記載による医療面接　ロールプレイ　4
28	カルテ記載による医療面接　ロールプレイ　5
29	総括　1
30	総括　2

九州医療スポーツ専門学校
令和3年度　スポーツ鍼灸学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	臨床実習2	担当者名	大中　孝子

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数				1	授業時間数				45		

授業概要	これまで習得した技術や技法を用いて、 臨床の現場でよくみられる各疾患に対する適切な診察が行えることを目的とする。 また臨床でよく用いられる徒手検査法も反復して行い、技術向上を図る。
成績評価	試験およびカルテやフィードバック用紙の提出状況、出席状況、服装、衛生的な手技、 授業態度等を総合的に評価する。
その他	大中孝子（鍼灸施設勤務）

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書			
参考図書			

回数	授業計画
1	OSCE症例（頸部疾患） 1
2	OSCE症例（頸部疾患） 2
3	OSCE症例（頸部疾患） 3
4	OSCE症例（頸部疾患） 4
5	OSCE症例（肩関節疾患） 1
6	OSCE症例（肩関節疾患） 2
7	OSCE症例（肩関節疾患） 3
8	OSCE症例（肩関節疾患） 4
9	OSCE症例（上肢疾患） 1
10	OSCE症例（上肢疾患） 2
11	OSCE症例（上肢疾患） 3
12	OSCE症例（上肢疾患） 4
13	OSCE症例（胸郭出口症候群） 1
14	OSCE症例（胸郭出口症候群） 2
15	OSCE症例（胸郭出口症候群） 3
16	OSCE症例（胸郭出口症候群） 4
17	OSCE症例（腰下肢疾患） 1
18	OSCE症例（腰下肢疾患） 2
19	OSCE症例（腰下肢疾患） 3
20	OSCE症例（腰下肢疾患） 4
21	OSCE症例（膝疾患） 1
22	OSCE症例（膝疾患） 2
23	OSCE症例（膝疾患） 3
24	OSCE症例（膝疾患） 4
25	OSCE症例（足部疾患） 1
26	OSCE症例（足部疾患） 2
27	OSCE症例（足部疾患） 3
28	OSCE症例（足部疾患） 4
29	総括1
30	総括2

九州医療スポーツ専門学校
令和3年度　スポーツ鍼灸学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	臨床実習3	担当者名	大中　孝子

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数				1	授業時間数					45	

授業概要	これからの鍼灸師にとっても不可欠な能力である医療面接技法のスキルアップさせるために 具体的な症例を用いて実習を行う。 実際に臨床現場で必要な人材になるための人格教育、また業務に必要なカルテの記載力 向上を図ることを目的とする。
成績評価	レポート、出席状況、授業態度等医療人としての自覚を加味して総合的に評価します。
その他	大中孝子（鍼灸施設勤務）

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	プリント配布		
参考図書			

回数	授業計画
1	オリエンテーション(臨床実習の進め方)
2	オリエンテーション(医療面接の復習)
3	臨床実習に向けての実習①
4	臨床実習に向けての実習②
5	臨床実習に向けての実習③・ 臨床実習施設での実習
6	臨床実習に向けての実習④・ 臨床実習施設での実習
7	臨床実習施設での実習 、グループディスカッション
8	臨床実習施設での実習 、グループディスカッション
9	臨床実習施設での実習 、グループディスカッション
10	臨床実習施設での実習 、グループディスカッション
11	臨床実習施設での実習 、グループディスカッション
12	臨床実習施設での実習 、グループディスカッション
13	臨床実習施設での実習 、グループディスカッション
14	臨床実習施設での実習 、グループディスカッション
15	臨床実習施設での実習 、グループディスカッション
16	臨床実習施設での実習 、グループディスカッション
17	臨床実習施設での実習 、グループディスカッション
18	臨床実習施設での実習 、グループディスカッション
19	臨床実習施設での実習 、グループディスカッション
20	臨床実習施設での実習 、グループディスカッション
21	臨床実習施設での実習 、グループディスカッション
22	臨床実習施設での実習 、グループディスカッション
23	臨床実習施設での実習 、グループディスカッション
24	臨床実習施設での実習 、グループディスカッション
25	臨床実習施設での実習 、グループディスカッション
26	臨床実習施設での実習 、グループディスカッション
27	臨床実習施設での実習 、グループディスカッション
28	臨床実習施設での実習 、グループディスカッション
29	まとめ1
30	まとめ2

九州医療スポーツ専門学校
令和3年度　スポーツ鍼灸学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	臨床実習4	担当者名	馬男木　亨

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数				1	授業時間数						45

授業概要	これからの臨床にとって必要な知識と技術の向上を目的に、具体的な症例を用いたシュミレーションを行う。 また、症例から得られた情報をまとめ、カンファレンス形式で発表する。
成績評価	レポート、出席状況、授業態度等医療人としての自覚を加味して総合的に評価します。
その他	馬男木亨（鍼灸施設勤務）

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	プリント配布		
参考図書			

回数	授業計画
1	臨床シュミレーション
2	臨床シュミレーション
3	臨床シュミレーション
4	臨床シュミレーション
5	臨床シュミレーション
6	臨床シュミレーション
7	臨床シュミレーション
8	臨床シュミレーション
9	臨床カンファレンス①
10	臨床カンファレンス②
11	臨床シュミレーション
12	臨床シュミレーション
13	臨床シュミレーション
14	臨床シュミレーション
15	臨床シュミレーション
16	臨床シュミレーション
17	臨床シュミレーション
18	臨床シュミレーション
19	臨床カンファレンス③
20	臨床カンファレンス④
21	臨床シュミレーション
22	臨床シュミレーション
23	臨床シュミレーション
24	臨床シュミレーション
25	臨床シュミレーション
26	臨床シュミレーション
27	臨床シュミレーション
28	臨床シュミレーション
29	臨床シュミレーション
30	臨床シュミレーション

九州医療スポーツ専門学校
令和3年度　スポーツ鍼灸学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	総合演習1	担当者名	宮原　正人

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数		2			授業時間数		40				

授業概要	解剖学・生理学の科目間の連携をはかり、また東洋医学の知識も交えて 実際の鍼灸臨床に役立つように、さらに深く理解することを目的として総合的に学習する。
成績評価	出席点や宿題、レポート提出により評価する。
その他	宮原正人（鍼灸施設勤務）

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	解剖学（第2版） 生理学（第3版） 東洋医学概論	教科書執筆小委員会著 （社）東洋療法学校協会編	医道の日本社
参考図書			

回数	授業計画
1	解剖生理学①
2	解剖生理学②
3	解剖生理学③
4	解剖生理学④
5	解剖生理学⑤
6	解剖生理学⑥
7	解剖生理学⑦
8	解剖生理学⑧
9	解剖生理学⑨
10	解剖生理学⑩
11	東洋医学を現代医学で考える①
12	東洋医学を現代医学で考える②
13	東洋医学を現代医学で考える③
14	東洋医学を現代医学で考える④
15	東洋医学を現代医学で考える⑤
16	東洋医学を現代医学で考える⑥
17	東洋医学を現代医学で考える⑦
18	東洋医学を現代医学で考える⑧
19	東洋医学を現代医学で考える⑨
20	東洋医学を現代医学で考える⑩

九州医療スポーツ専門学校
令和3年度　スポーツ鍼灸学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	総合演習2	担当者名	小寺　凌

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数		2			授業時間数				40		

授業概要	西洋医学・東洋医学の科目間の連携をはかり、実際の鍼灸臨床に役立つように さらに深く理解することを目的として総合的に学習する。
成績評価	出席点や宿題、レポート提出により評価する。
その他	小寺凌（鍼灸施設勤務）

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	生理学（第3版） 解剖学（第2版）	佐藤優子・佐藤昭夫他　著 奈良　信夫・佐藤千史他　著 （社）東洋療法学校協会　編	医歯薬出版
参考図書			

回数	授業計画
1	解剖学・生理学演習　1
2	解剖学・生理学演習　2
3	解剖学・生理学演習　3
4	解剖学・生理学演習　4
5	解剖学・生理学演習　5
6	解剖学・生理学演習　6
7	解剖学・生理学演習　7
8	解剖学・生理学演習　8
9	解剖学・生理学演習　9
10	解剖学・生理学演習　10
11	東洋医学・経穴学演習　1
12	東洋医学・経穴学演習　2
13	東洋医学・経穴学演習　3
14	東洋医学・経穴学演習　4
15	東洋医学・経穴学演習　5
16	東洋医学・経穴学演習　6
17	東洋医学・経穴学演習　7
18	東洋医学・経穴学演習　8
19	東洋医学・経穴学演習　9
20	東洋医学・経穴学演習　10

九州医療スポーツ専門学校
令和3年度　スポーツ鍼灸学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	総合演習3	担当者名	大庭　慎一朗

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数		2			授業時間数					40	

授業概要	これまでに習得した知識を基礎から確認し、応用的な知識へと向上させることを目的とする。
成績評価	期末試験、授業態度、知識及び習熟状況を総合的に評価。
その他	大庭慎一朗（鍼灸施設勤務）

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書			
参考図書			

回数	授業計画
1	オリエンテーション
2	
3	実力試験①　解答・解説
4	
5	実力試験②　解答・解説
6	
7	学園祭
8	
9	実力試験③　解答・解説
10	
11	実力試験④　解答・解説
12	
13	
14	実力試験⑤　解答・解説
15	
16	
17	期末試験　解答・解説
18	
19	
20	

九州医療スポーツ専門学校
令和3年度　スポーツ鍼灸学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	総合演習4	担当者名	黒川　典子

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数		2			授業時間数						40

授業概要	解剖学と生理学、病理学の科目間の連携をはかり、 実際の鍼灸臨床に役立つようにさらに深く理解することを目的として総合的に学習する。
成績評価	原則として、授業態度、定期試験および追・再試験の結果で評価する。
その他	黒川典子（鍼灸施設勤務）

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	解剖学（第2版） 生理学（第2版）	河野邦雄、伊藤隆造他著 佐藤優子・佐藤昭夫他　著 （社）東洋療法学校協会編	医歯薬出版
参考図書			

回数	授業計画
1	解剖生理病理　基礎①
2	解剖生理病理　基礎②
3	解剖生理病理　基礎③
4	解剖生理病理　運動系①
5	解剖生理病理　運動系②
6	解剖生理病理　運動系③
7	解剖生理病理　運動系④
8	解剖生理病理　運動系⑤
9	解剖生理病理　神経系①
10	中間試験　解答・解説
11	解剖生理病理　神経系②
12	解剖生理病理　神経系③
13	解剖生理病理　神経系④
14	解剖生理病理　神経系⑤
15	解剖生理病理　内分泌①
16	解剖生理病理　内分泌②
17	解剖生理病理　内分泌③
18	解剖生理病理　内分泌④
19	期末試験
20	期末試験/解答・解説

九州医療スポーツ専門学校
令和3年度　スポーツ鍼灸学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	総合演習5	担当者名	小寺　凌

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数		2			授業時間数						40

授業概要	経穴の取穴部位と身体解剖との位置関係を理解し、それを東洋医学的鑑別（四診法など）を用いてそれぞれの病証に対して弁別し、鍼灸治療を用いた臨床応用が出来るように学ぶ。
成績評価	原則として、小テストを含めた定期試験の結果で評価する。
その他	小寺凌（鍼灸施設勤務）

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	新版　経絡経穴概論	教科書執筆委員会　著	医道の日本社
参考図書	東洋医学概論	教科書執筆小委員会著 （社）東洋医法学校協会編	医道の日本社

回数	授業計画
1	経穴の総合演習①（骨度法、流注について）
2	経穴の総合演習②（要穴について）
3	経穴の総合演習③（背部、腹部の並びの経穴について）
4	経穴の総合演習④（四肢の経穴について）
5	経穴の総合演習⑤（奇経八脈、奇穴について）
6	経穴の総合演習⑥（筋と経穴について）
7	経穴の総合演習⑦（神経と経穴について）
8	経穴の総合演習⑧（神経と経穴について）
9	経穴の総合演習⑨（動脈、臓器と経穴について）
10	中間試験　解答・解説
11	東概の総合演習①（五行色体、陰陽について）
12	東概の総合演習②（生理物質について）
13	東概の総合演習③（臓腑について）
14	東概の総合演習④（経絡について）
15	東概の総合演習⑤（病因病機について）
16	東概の総合演習⑥（四診について）
17	東概の総合演習⑦（弁証論治について）
18	東概の総合演習⑧（弁証論治について）
19	期末試験
20	期末試験/解答・解説

九州医療スポーツ専門学校
令和3年度　スポーツ鍼灸学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	総合演習6	担当者名	馬男木　亨

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数		2			授業時間数						40

授業概要	問題演習を通して、各科目の習得度を確認し、さらなる知識の向上をはかることを目的とする。
成績評価	原則として、定期試験および追・再試験の結果で評価する。
その他	馬男木亨（鍼灸施設勤務）

使用教材	書籍名	著者名	出版社名
教科書	東洋医学臨床論 東洋医学概論	教科書執筆小委員会著 （社）東洋療法学校協会編	医道の日本社
参考図書			

回数	授業計画
1	実力試験①（解剖・生理学） 解答・解説
2	
3	
4	
5	実力試験②（病理学・臨床医学総論・臨床医学各論） 解答・解説
6	
7	
8	
9	実力試験③（東洋医学概論・経絡経穴概論） 解答・解説
10	
11	
12	
13	実力試験（東洋医学臨床論・はり理論・きゅう理論） 解答・解説
14	
15	
16	
17	期末試験　解答・解説
18	
19	
20	